

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年8月9日
【四半期会計期間】	第30期第1四半期（自平成25年4月1日至平成25年6月30日）
【会社名】	株式会社アルゴグラフィックス
【英訳名】	ARGO GRAPHICS Inc.
【代表者の役職氏名】	代表取締役 会長執行役員（CEO） 藤澤 義 磨
【本店の所在の場所】	東京都中央区日本橋箱崎町5番14号
【電話番号】	03（5641）2037
【事務連絡者氏名】	取締役執行役員 管理統括部長 井 瀧 博 彦
【最寄りの連絡場所】	東京都中央区日本橋箱崎町5番14号
【電話番号】	03（5641）2037
【事務連絡者氏名】	取締役執行役員 管理統括部長 井 瀧 博 彦
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第29期 第1四半期 連結累計期間	第30期 第1四半期 連結累計期間	第29期
会計期間	自平成24年4月1日 至平成24年6月30日	自平成25年4月1日 至平成25年6月30日	自平成24年4月1日 至平成25年3月31日
売上高 (千円)	7,641,107	7,561,811	29,996,271
経常利益 (千円)	457,863	506,776	2,235,627
四半期(当期)純利益 (千円)	291,540	290,367	1,272,160
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	130,019	415,359	1,914,121
純資産額 (千円)	14,930,769	16,776,856	16,791,326
総資産額 (千円)	22,752,888	24,091,811	25,222,435
1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	29.29	28.85	127.70
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	29.25	28.55	127.36
自己資本比率 (%)	59.9	64.2	61.4
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	1,204,141	361,520	2,434,647
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	92,698	18,528	697,869
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	469,242	429,079	420,157
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	8,132,304	7,839,748	8,643,667

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

#### 2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 経営成績の分析

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政権交代以降の経済対策や日銀の大胆な金融緩和策等により円安、株高が進行し、企業業績には回復傾向が表れております。一方、円安による物価上昇等の影響から個人消費の動きは鈍く、新興国の景気減速や欧州の債務危機問題の長期化など、先行きの不透明感も依然残る状況が続いております。

当社グループの主要取引先である自動車や電機をはじめとする製造業では、世界市場での競争を勝ち抜くため、事業の見直し強化を急速に進めております。

このような環境の中、当社グループでは製造業に対する存在感をより一層高めるため、顧客のグローバル展開に合わせ、開発・製造に必要とされる情報一元化のためのサポート体制を整備し、製品情報・部品情報システムに対する支援サービスに注力いたしました。また、ビッグデータに対応したサーバーやストレージの販売、災害対策の為に二重化システムの導入支援についても強化いたしました。

その結果として、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高が7,561百万円（前年同四半期比1.0%減）、営業利益は499百万円（同27.6%増）、経常利益は506百万円（同10.7%増）、四半期純利益は290百万円（同0.4%減）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

PLM事業につきましては、事業採算を考慮した営業活動を展開したことにより外部顧客への売上高が7,229百万円（前年同四半期比1.7%減）、セグメント利益は485百万円（同8.8%増）となりました。

連結子会社である㈱ジーダットが中心となって行うEDA事業につきましては、従来の主要顧客である国内半導体・電子部品に加え、自動車等の新たな業界にも積極的な営業活動を展開したことが功を奏し、外部顧客への売上高が332百万円（前年同四半期比17.2%増）、セグメント利益は14百万円（前年同四半期はセグメント損失53百万円）となりました。

#### (2) 財政状態の分析

##### 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における資産合計及び負債純資産合計は、以下の要因により、前連結会計年度末に比べ1,130百万円減少し、24,091百万円となりました。

##### （資産）

流動資産は、現金及び預金が803百万円減少、受取手形及び売掛金が1,152百万円減少、商品が8百万円増加、その他が760百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末比1,188百万円減の15,723百万円となりました。

固定資産は、有形固定資産が15百万円減少、無形固定資産が7百万円増加、投資その他の資産のうち、投資有価証券が102百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末比57百万円増の8,367百万円となりました。

##### （負債）

流動負債は、買掛金が1,175百万円減少、未払法人税等が292百万円減少、賞与引当金が254百万円減少、役員賞与引当金が37百万円減少、その他が610百万円増加したことにより、前連結会計年度末比1,148百万円減の5,866百万円となりました。

固定負債は、退職給付引当金が42百万円増加、その他が9百万円減少し、前連結会計年度末比32百万円増の1,448百万円となりました。

この結果、負債合計は前連結会計年度末比1,116百万円減の7,314百万円となりました。

##### （純資産）

純資産は、資本金が33百万円増加、資本剰余金が33百万円増加、利益剰余金が211百万円減少、その他有価証券評価差額金が105百万円増加、為替換算調整勘定が12百万円増加、新株予約権が12百万円減少、少数株主持分が24百万円増加したことにより、前連結会計年度末比14百万円減の16,776百万円となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況の分析

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、営業活動により使用した資金361百万円、投資活動により使用した資金18百万円、財務活動により使用した資金429百万円等を加味した結果、前連結会計年度末に比べ803百万円減少（9.3%減）し、7,839百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は361百万円となりました。

収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益506百万円、売上債権の減少額1,152百万円、前受金の増加額290百万円、その他の流動負債の増加額396百万円であり、支出の主な内訳は、賞与引当金の減少額254百万円、役員賞与引当金の減少額37百万円、前渡金の増加額690百万円、その他の流動資産の増加額46百万円、仕入債務の減少額1,175百万円、未払消費税等の減少額55百万円、法人税等の支払額525百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は18百万円となりました。

収入の主な内訳は、関係会社株式の売却による収入43百万円であり、支出の主な内訳は、有形固定資産の取得による支出36百万円、無形固定資産の取得による支出12百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は429百万円となりました。

収入の主な内訳は、少数株主からの払込みによる収入22百万円、新株予約権の行使による株式の発行による収入54百万円であり、支出の主な内訳は、配当金の支払額501百万円であります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は84百万円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	42,720,000
計	42,720,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年6月30日)	提出日現在発行数 (株) (平成25年8月9日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	10,587,200	10,651,300	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は100株でありま す。
計	10,587,200	10,651,300	-	-

(注) 「提出日現在の発行数」には、平成25年8月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年4月1日～ 平成25年6月30日(注)1	52,500	10,587,200	33,311	1,422,170	33,311	1,529,570

(注) 1. 新株予約権の行使による増加であります。

##### (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 500,200	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 10,032,700	100,327	-
単元未満株式	普通株式 1,800	-	一単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	10,534,700	-	-
総株主の議決権	-	100,327	-

【自己株式等】

平成25年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(株)アルゴグラフィックス	東京都中央区日本橋 箱崎町5-14	500,200	-	500,200	4.74
計	-	500,200	-	500,200	4.74

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号、以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、四半期連結財務諸表規則第5条の2第2項により、四半期連結キャッシュ・フロー計算書を作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,683,667	8,879,748
受取手形及び売掛金	6,285,695	5,133,185
商品	243,949	251,954
仕掛品	39,121	39,735
原材料及び貯蔵品	8,117	7,159
その他	651,885	1,412,049
流動資産合計	16,912,437	15,723,833
固定資産		
有形固定資産	261,401	245,851
無形固定資産	57,880	65,759
投資その他の資産		
投資有価証券	4,502,473	4,604,540
長期預金	2,700,000 <sup>2</sup>	2,700,000 <sup>2</sup>
その他	788,242	751,825
投資その他の資産合計	7,990,715	8,056,366
固定資産合計	8,309,997	8,367,977
資産合計	25,222,435	24,091,811
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	4,277,732	3,102,626
未払法人税等	501,541	209,085
賞与引当金	463,808	209,468
役員賞与引当金	50,000	12,500
その他	1,722,263	2,332,890
流動負債合計	7,015,346	5,866,570
固定負債		
退職給付引当金	1,156,551	1,199,132
その他	259,211	249,250
固定負債合計	1,415,763	1,448,383
負債合計	8,431,109	7,314,954



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	1,388,859	1,422,170
資本剰余金	1,496,259	1,529,570
利益剰余金	12,455,895	12,244,540
自己株式	598,333	598,333
<b>株主資本合計</b>	<b>14,742,679</b>	<b>14,597,946</b>
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	740,768	846,288
為替換算調整勘定	1,705	13,934
<b>その他の包括利益累計額合計</b>	<b>742,473</b>	<b>860,222</b>
新株予約権	218,925	206,448
少数株主持分	1,087,247	1,112,238
<b>純資産合計</b>	<b>16,791,326</b>	<b>16,776,856</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>25,222,435</b>	<b>24,091,811</b>

( 2 ) 【 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 】  
【 四半期連結損益計算書 】  
【 第 1 四半期連結累計期間 】

( 単位 : 千円 )

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 6 月30日)
売上高	7,641,107	7,561,811
売上原価	6,040,518	5,883,272
売上総利益	1,600,589	1,678,538
販売費及び一般管理費合計	1,208,607	1,178,540
営業利益	391,981	499,997
営業外収益		
受取利息	13,918	18,062
受取配当金	17,655	21,319
補助金収入	19,506	-
その他	15,721	1,936
営業外収益合計	66,802	41,318
営業外費用		
持分法による投資損失	-	25,607
減価償却費	562	-
会員権売却損	357	-
その他	-	8,933
営業外費用合計	920	34,540
経常利益	457,863	506,776
税金等調整前四半期純利益	457,863	506,776
法人税、住民税及び事業税	204,085	242,529
法人税等調整額	22,800	30,851
法人税等合計	181,285	211,678
少数株主損益調整前四半期純利益	276,578	295,097
少数株主利益又は少数株主損失 ( )	14,962	4,730
四半期純利益	291,540	290,367

【四半期連結包括利益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	276,578	295,097
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	151,065	105,519
為替換算調整勘定	7,078	5,776
持分法適用会社に対する持分相当額	2,572	8,965
その他の包括利益合計	146,559	120,261
四半期包括利益	130,019	415,359
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	142,314	408,115
少数株主に係る四半期包括利益	12,295	7,243

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	457,863	506,776
減価償却費	24,425	26,506
賞与引当金の増減額(は減少)	225,825	254,340
役員賞与引当金の増減額(は減少)	37,500	37,500
退職給付引当金の増減額(は減少)	22,920	42,581
受取利息及び受取配当金	31,574	39,381
持分法による投資損益(は益)	12,886	25,607
売上債権の増減額(は増加)	1,019,054	1,152,509
たな卸資産の増減額(は増加)	26,225	7,660
前渡金の増減額(は増加)	7,477	690,262
その他の流動資産の増減額(は増加)	41,245	46,481
仕入債務の増減額(は減少)	183,648	1,175,106
前受金の増減額(は減少)	450,751	290,182
未払消費税等の増減額(は減少)	16,216	55,580
その他の流動負債の増減額(は減少)	339,183	396,836
その他	32,363	893
小計	1,778,917	135,579
利息及び配当金の受取額	24,212	28,223
法人税等の支払額	598,988	525,324
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>1,204,141</b>	<b>361,520</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	6,715	36,847
無形固定資産の取得による支出	276	12,255
有価証券の償還による収入	100,000	-
関係会社株式の売却による収入	-	43,400
その他	310	12,825
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>92,698</b>	<b>18,528</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
少数株主からの払込みによる収入	-	22,397
新株予約権の行使による株式の発行による収入	-	54,967
配当金の支払額	464,592	501,794
その他	4,650	4,650
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>469,242</b>	<b>429,079</b>
<b>現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	<b>7,219</b>	<b>5,209</b>
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	834,816	803,918
現金及び現金同等物の期首残高	7,297,487	8,643,667
現金及び現金同等物の四半期末残高	1 8,132,304	1 7,839,748

【注記事項】

( 四半期連結貸借対照表関係 )

1 保証債務

関連会社の金融機関からの借入金に対して行っている債務保証は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
D&A Technology Co.,Ltd	105,896千円	111,798千円

2 期限前解約権を銀行のみが保有しており、当社から解約を行う場合、取引銀行所定の解約精算金を支払う必要があります。これにより預金元本を毀損する可能性があるものは、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
長期預金	2,700,000千円	2,700,000千円

( 四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係 )

1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
現金及び預金	9,172,304千円	8,879,748千円
預入期間が3か月超の定期預金	1,040,000	1,040,000
現金及び現金同等物	8,132,304	7,839,748

( 株主資本等関係 )

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月21日 定時株主総会	普通株式	497,692	50	平成24年3月31日	平成24年6月22日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月20日 定時株主総会	普通株式	501,722	50	平成25年3月31日	平成25年6月21日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期 連結損益計算書 計上額(注)1
	PLM事業	EDA事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,357,444	283,663	7,641,107	-	7,641,107
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,488	660	2,148	2,148	-
計	7,358,933	284,323	7,643,256	2,148	7,641,107
セグメント利益又は損失( )	445,696	53,714	391,981	-	391,981

(注)1. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期 連結損益計算書 計上額(注)1
	PLM事業	EDA事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,229,433	332,377	7,561,811	-	7,561,811
セグメント間の内部売上高 又は振替高	303	6,558	6,862	6,862	-
計	7,229,737	338,936	7,568,673	6,862	7,561,811
セグメント利益	485,130	14,867	499,997	-	499,997

(注)1. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	29円29銭	28円85銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	291,540	290,367
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	291,540	290,367
普通株式の期中平均株式数(株)	9,953,850	10,064,217
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	29円25銭	28円55銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)	-	-
(うち支払利息(税額相当額控除後) (千円))	(-)	(-)
(うち事務手数料(税額相当額控除後) (千円))	(-)	(-)
普通株式増加数(株)	12,911	107,088
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。



## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年 8月 9日

株式会社アルゴグラフィックス  
取締役会 御中

### 有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	沼田 敦 士 印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	三井 勇 治 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社アルゴグラフィックスの平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社アルゴグラフィックス及び連結子会社の平成25年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。